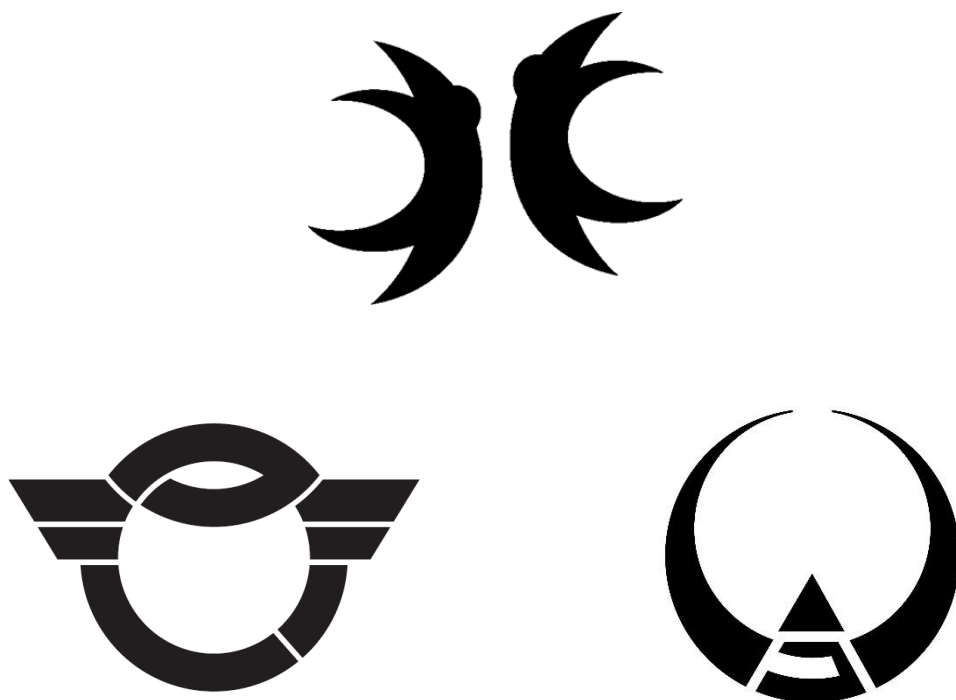


(案)

資料 3

第 3 次
八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン
(令和 7 年度～令和 1 1 年度)



北杜市・富士見町・原村

令和 7 年 3 月

令和 7 年 ● 月

策定

改訂

《目 次》

第1章	八ヶ岳定住自立圏の概要	P 1
1	定住自立圏の名称	1
2	定住自立圏の構成市町村	1
3	定住自立圏の目的・役割	1
4	定住自立圏の政策分野	2
5	構成市町村の概況	4
第2章	八ヶ岳定住自立圏共生ビジョンの概要	5
1	共生ビジョンの目的	5
2	共生ビジョンの計画期間	5
第3章	八ヶ岳定住自立圏の将来像	6
1	将来人口推計	6
2	定住自立圏の将来像	8
第4章	八ヶ岳定住自立圏の基本的事項	10
1	基本方針	10
2	事務執行にあたっての協力・費用負担	10
3	協定の変更・廃止	10
4	疑義の解決	10
第5章	定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組	11
I	生活機能の強化	11
II	結びつきやネットワークの強化	29
III	圏域マネジメント能力の強化	39
第6章	八ヶ岳定住自立圏共生ビジョンの推進体制	40
資料編	八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱	41
	八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿	42
	第3次八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン審議経過	43

第1章 ハケ岳定住自立圏の概要

1 定住自立圏の名称

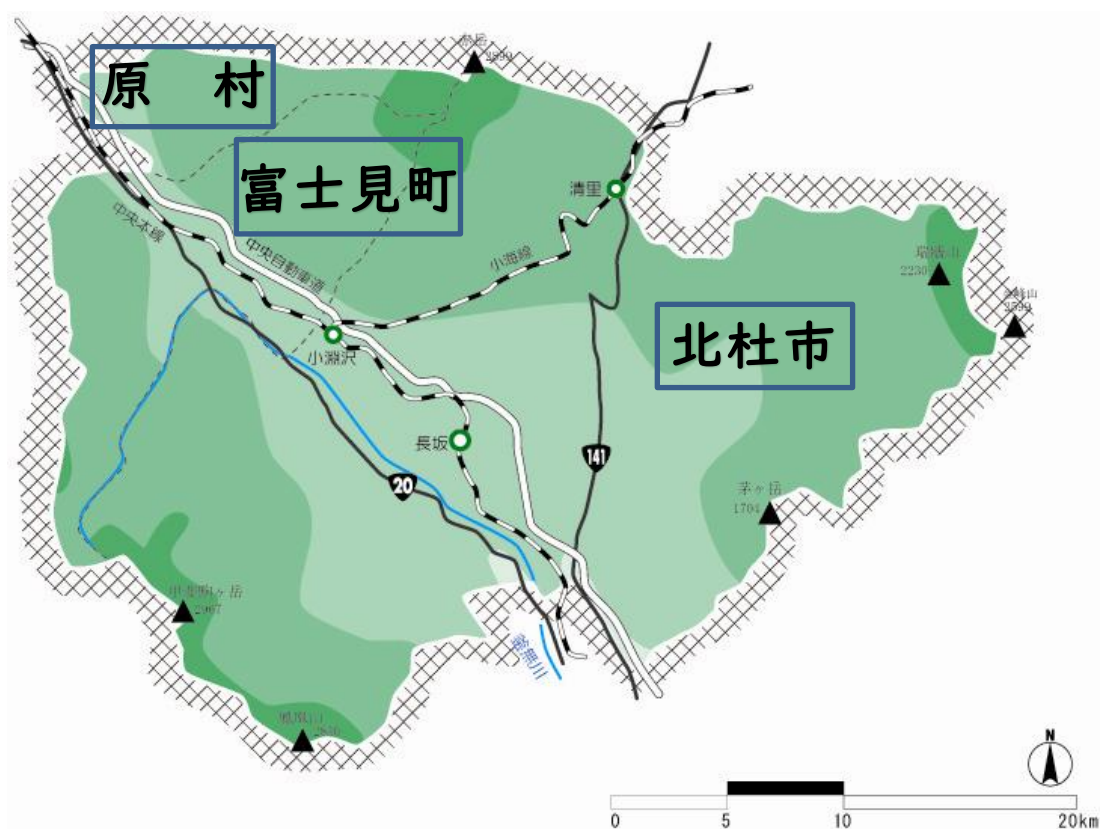
ハケ岳定住自立圏

2 定住自立圏の構成市町村

山梨県北杜市(中心市)、長野県富士見町、長野県原村(構成町村)

3 定住自立圏の目的・役割

少子化による人口減少と高齢化社会を迎えている中で、ハケ岳定住自立圏域が将来にわたって安心して暮らすことのできる地域として、圏域の市町村が相互に連携と協力を行い、圏域全体の生活機能の強化等に取り組むことにより、ハケ岳圏域の定住人口の確保と地域の活性化を図ります。



4 定住自立圏の政策分野

北杜市と富士見町及び原村との間で締結した、「ハケ岳定住自立圏の形成に関する協定書」に基づき、構成市町村が相互に連携・協力して、「生活機能の強化」、「結びつきやネットワークの強化」及び「圏域マネジメント能力の強化」の政策分野に取り組みます。

I 生活機能の強化

施策区分	施策分野	取組内容	事業
1 医療	ア 医療体制の充実	圏域内の医療体制の充実	① 地域医療機関支援事業
	イ 健康づくりの推進	地域の健康増進の推進	② 健康福祉啓発事業
2 福祉	ア 子育て支援	子育て支援施設の相互利用の促進及び子育てイベント情報の共有	③ 子育て支援施設相互利用事業
3 産業振興	ア 観光振興の推進	ハケ岳観光圏事業を拡充し、国内外からの観光客の誘客への取組	④ ハケ岳観光圏支援事業
			⑤ 観光施設等相互利用事業
		南アルプスユネスコエコパーク事業への取組（※）	⑥ 南アルプスユネスコエコパーク事業
	イ 鳥獣害防止対策	農林業被害防止のための鳥獣害防止対策への取組	⑦ 鳥獣害防止対策合同会議
	ウ 地産地消・販路拡大の推進	地産地消及び販路拡大の推進	⑧ ハケ岳定住自立圏農林産物販売連携会議 ⑨ 特産品等地域資源活用交流促進事業
4 教育・文化	ア 図書館の相互利用等	各図書館の相互利用等の促進	⑩ 図書館相互利用促進事業
			⑪ 図書館連携事業
	イ 生涯学習の充実	施設の相互利用、イベント情報の共有	⑫ 演劇鑑賞・体験交流促進事業
			⑬ 文化芸術鑑賞・体験機会提供事業
			⑭ 峡北スケート大会、スケート教室開催事業及びスケート振興推進事業
			⑮ アーバンスポーツ振興推進事業 ⑯ 商店街にぎわい創出事業

	ウ 文化財の保護、活用	文化財の保護、活用の推進	⑰ 資料館連携事業
			⑱ 文化財を活用した地域活性化事業

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化

施策区分	施策分野	取組内容	事業
1 地域公共交通	ア 地域公共交通のネットワーク化	バス路線等の維持・確保対策への取組（※）	⑲ 圏域公共交通対策事業
			⑳ 高速交通網活用事業
2 圏域内外の住民との交流及び移住の促進	ア 結婚支援	若者への出会いの機会の提供、結婚支援への取組	㉑ 出会いの機会創出事業
			㉒ きめ細やかな結婚支援事業
	イ 移住促進及び交流推進	就労、住宅、空き家に関する情報の提供及び発信への取組	㉓ 移住定住相談対策推進事業
			㉔ 八ヶ岳圏域魅力発信推進事業
			㉕ 地域活動団体連携事業
	ウ 女性の活躍	女性の活躍と雇用の促進	㉖ 就労支援事業
3 道路等のインフラの整備	ア 道路の整備	観光ルート等の道路整備への取組	㉗ 広域幹線道路整備促進協議会
			㉘ 主要道路整備事業

施策区分	施策分野	取組内容	事業
1 圏域内市町村職員の交流	ア 市町村間職員研修	圏域内職員の資質向上及び圏域マネジメント能力向上に向けた研修開催	㉙ 圏域市町村職員合同研修開催事業

（※）北杜市と富士見町のみの協定項目です。

5 構成市町村の概況

山梨県北杜市、長野県富士見町及び原村は、山梨県と長野県にまたがる日本百名山の一つである八ヶ岳の主峰赤岳から南側に広がる地域で、県境を挟んで東側に北杜市、西側に富士見町及び原村が位置します。

圏域は、八ヶ岳南麓の豊かな自然環境と、八ヶ岳や南アルプスの眺望、富士山が遠望される優れた景観を有しており、長い日照時間や夏季の冷涼な気候を活かした豊富な種類の農産物の栽培が盛んな地域です。

また、山岳部は南アルプス国立公園、秩父多摩甲斐国立公園、八ヶ岳中信高原国立公園に指定されており、国連機関であるユネスコから「南アルプスユネスコエコパーク」と「甲武信ユネスコエコパーク」の2つの生物圏保存地域(Biosphere Reserve)に登録されています。

古くは約5,000年前、「井戸尻文化」といわれる共通の文化が栄え、縄文銀座ともいわれるほど多くの人々が住み、素晴らしい造形の土器をつくり栄えた地域でした。井戸尻遺跡や阿久遺跡、金生遺跡、梅之木遺跡が国指定史跡に指定され、「星降る中部高地の縄文世界」として、文化庁の日本遺産にも認定されています。

さらに、美術館や工房等も数多く点在するなど、芸術家等が創造の地として移り住み工房等を開いている状況は、縄文時代から現在に至るまで、この圏域が「住んでよし」を体現している証といえます。

この圏域は、県境を挟んだ地域ではありますが、構成市町村の地理的、歴史的な繋がりは深く、日常の買い物、医療、通勤、レジャーなどの点で圏域内の住民生活に関する結びつきは強く、従来から生活圏を形成しています。

平成18(2006)年に、隣接する北杜市と富士見町は広域消防相互応援協定を結んだほか、平成20(2008)年には、行政や観光協会等団体等で環境美化や自然保護を目的として、南北八ヶ岳保護管理運営協議会(北杜市、富士見町、原村を含む10市町村)を設立し活動を行っています。

また、平成22(2010)年には、全国に先がけ3市町村を圏域とする「八ヶ岳観光圏」として、国土交通省(観光庁)から認定され、「日本の顔」である八ヶ岳を、日本を代表する観光地としてさらに充実させるため、民間レベルでの連携が主体となり観光振興に取り組んでいるとともに、観光関係事業者や農業事業者等と連携したインバウンド誘致と観光振興を中心とした交流人口増加に繋がるものとして期待されています。

さらに、圏域の特色を活かした移住定住対策にも取り組んでおり、テレワークや2拠点居住を行うことができるコワーキングスペースなどの整備を進め、圏域への定住促進を図っています。

第2章 ハケ岳定住自立圏共生ビジョンの概要

1 共生ビジョンの目的

安心かつ快適に暮らせる定住自立圏の形成に向け、構成市町村で締結した「ハケ岳定住自立圏の形成に関する協定書」に基づき、推進する具体的な取組等を示すと共に、ハケ岳定住自立圏が目指す将来像を「定住自立圏共生ビジョン」として定めます。

2 共生ビジョンの計画期間

第3次ハケ岳定住自立圏共生ビジョンの計画期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間とします。

ただし、協定を締結していない施策分野や取組項目においても、連携することにより効果的・効率的な施策展開が図られるものについては、追加で協定を締結し、定住自立圏において取り組んでいきます。

第3章 ハヶ岳定住自立圏の将来像

1 将来人口推計

令和2(2020)年国勢調査における、ハヶ岳定住自立圏域(3市町村合計)の総人口は65,817人で、平成27(2015)年国勢調査の67,170人と比較して1,353人減少しました。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和32(2050)年の総人口は、東京都を除いた全ての道府県で令和2(2020)年を下回り、市区町村においては、約20%の市区町村で令和32(2050)年度の総人口が令和2(2020)年度の半数未満になると予想されています。

圏域の総人口は、令和27(2045)年には52,663人まで減少する見通しで、特に高齢化の進展が顕著に現れます。

ハヶ岳圏域に限らず、特に地方においては、東京一極集中による若者の大都市への流出により急激な人口減少となり、極めて厳しい状況になることが予想されます。

また、令和32(2050)年の0～14歳人口は99%の市区町村で令和2(2020)年を下回るとされており、こうした少子化による人口減少と高齢化が進むと、核家族化、空き家増加、地域経済減退、耕作放棄地増加や医療・介護サービス低下などが懸念されます。

そのような中で、地方への新しい人の流れをつくるため、安定した雇用の創出や若い世代の子育て支援の充実による移住・定住促進などの人口減少対策や、圏域の住民が安心して幸せに暮らせる地域づくりのための医療体制の充実や教育文化の振興といった課題は、圏域市町村が抱える共通の課題であります。

表1 圏域の人口（平成27（2015）年国勢調査）（単位：人、％）

	総 数 (比率)		年少人口 (比率)		生産年齢人口 (比率)		老年人口 (比率)	
北 杜 市	45,111	67.1	4,613	10.2	23,995	53.2	16,457	36.5
富士見町	14,493	21.6	1,803	12.4	7,786	53.7	4,871	33.6
原 村	7,566	11.3	976	12.9	4,141	54.7	2,448	32.4
計	67,170	100.0	7,392	11.0	35,922	53.5	23,776	35.4

※ 年少人口：0歳～14歳、生産年齢人口：15歳～64歳、老年人口：65歳～

※ 比率：圏域全体における各市町村の構成比及び各市町村の年齢3区分別構成比

※ 総数には年齢等の不詳を含む。

表2 圏域の人口（令和2（2020）年国勢調査）（単位：人、％）

	総 数 (比率)		年少人口 (比率)		生産年齢人口 (比率)		老年人口 (比率)	
北 杜 市	44,053	66.9	4,257	9.7	22,112	50.2	17,619	40.0
富士見町	14,084	21.4	1,651	11.7	7,229	51.3	5,115	36.3
原 村	7,680	11.7	979	12.7	4,009	52.2	2,667	34.7
計	65,817	100.0	6,887	10.5	33,350	50.7	25,401	38.6

※ 年少人口：0歳～14歳、生産年齢人口：15歳～64歳、老年人口：65歳～

※ 比率：圏域全体における各市町村の構成比及び各市町村の年齢3区分別構成比

※ 総数には年齢等の不詳を含む。

表3 圏域の推計人口（令和27（2045）年社人研推計）（単位：人、％）

	総 数 (比率)		年少人口 (比率)		生産年齢人口 (比率)		老年人口 (比率)	
北 杜 市	34,461	65.4	2,603	7.6	13,933	40.4	17,925	52.0
富士見町	11,120	21.1	1,052	9.5	4,879	43.9	5,189	46.7
原 村	7,082	13.5	803	11.3	3,109	43.9	3,170	44.8
計	52,663	100.0	4,458	8.5	21,921	41.6	26,284	49.9

※ 年少人口：0歳～14歳、生産年齢人口：15歳～64歳、老年人口：65歳～

※ 比率：圏域全体における各市町村の構成比及び各市町村の年齢3区分別構成比

※ 社人研推計：国立社会保障・人口問題研究所の推計

2 定住自立圏の将来像

1 圏域の将来像

全国的に人口減少社会が本格的に到来する中、特に地方においては、大幅な人口減少が予想されることから、都市圏への過度な一極集中を是正し、地方における人口流出を抑制し、地方への人の流れを創出することが喫緊の課題となっています。

こうした状況の中、北杜市、富士見町及び原村で構成する「八ヶ岳定住自立圏」では、誰もが住み続けたいと思える魅力あふれる圏域づくりを目指すため、構成市町村が互いに連携・協力しながら生活機能の充実や経済基盤の強化を図る必要があります。

特に、「観光振興」、「産業振興」、「教育文化」、「人々の交流促進」、「人材育成」など定住人口の増加や活力ある地域づくりを推進するため、「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン（平成27(2015)年度～令和元(2019)年度）」、「第2次八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン（令和2(2020)年度～令和6(2024)年度）」を策定し、圏域への人の流れの創出に向けた取り組みを行ってきました。

各市町村の財政状況は、生産年齢人口の減少などによる税収の減少や地域経済の縮小により、さらに厳しさを増すことが予想され、地域活力の衰退や生活関連サービスの縮小による利便性の低下、集落の維持存続の限界などが懸念されています。

八ヶ岳定住自立圏においても、少子高齢化に的確に対応し、国・地方を挙げた地方創生の取組を進め、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への過度の人口集中を是正し、将来に渡って持続可能な活力ある圏域づくりの構築が求められています。

持続可能な圏域づくりの構築には、若者から高齢者までの幅広い世代が健康で生きがいを発揮することができ、豊かな自然環境との調和を図った中で圏域の地域資源の活用により魅力を高め、圏域住民が将来にわたって住み続けたいと感じられる圏域づくりを目指す必要があります。

また、こうした取り組みは、地方自治体におけるSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組や地方創生の実現に資するものでもあります。

今後も持続可能な定住自立圏を形成していくため、引き続き圏域の地域経済を活性化させるとともに、安心・安全な暮らしを支える生活基盤の強化と安全・安心な生活を送れる社会の実現を目指し、誰もが住み続けたいと思える魅力あふれる圏域を創造していきます。

～ 圏域の将来像 ～

・健康で生きがい発揮の圏域づくり

若者から高齢者までの幅広い世代が、健康で生きがいをもって、
元気で生き生きと暮らせる圏域づくりを目指します。

・豊かな自然環境との調和の圏域づくり

日本有数の山岳景観を有する圏域の地域資源を活用し、歴史と文化
を生かしながら、圏域の魅力を高める圏域づくりを目指します。

・交流と前進の圏域づくり

圏域住民が郷土に誇りを持ち、圏域外から訪れる人々に地域力を伝え、
将来に渡って住み続けたいと感じられる圏域づくりを目指します。

2 圏域の目標人口

本圏域の将来像を設定するとともに、各市町村による人口推計及び社人研推計を
踏まえ、令和27(2045)年に圏域全体として、人口55,728人を目指すこととしま
す。

(単位：人)

市町村名	目標人口	社人研推計
北杜市	37,500	34,461
富士見町	11,000	11,120
原村	7,228	7,082
合計	55,728	52,663

第4章 ハヶ岳定住自立圏の基本的事項

ハヶ岳定住自立圏の形成に関する協定書において、定住自立圏に関する基本的事項を次のとおり定めています。

1 基本方針

中心市と構成町村は、定住自立圏を形成するにあたり、相互に連携を図り、共同し、又は補完し合います。

2 事務執行に当たっての協力・費用負担

- (1) 中心市と構成町村は相互に役割を分担し、協力して事務の執行に当たります。
- (2) 必要な費用が生じるときは、相互の受益の程度等を勘案し、当該費用を負担します。
- (3) 事務の執行・費用の負担に関し必要な事項は、必要に応じて中心市と構成町村が協議して定めることとします。

3 協定の変更・廃止

- (1) 協定の規定を変更しようとする場合は、中心市と構成町村が協議の上、あらかじめ議会の議決を得ることとします。
- (2) 協定を廃止しようとする場合は、あらかじめ議会の議決を経た上でその旨を他方に通告するものとします。

4 疑義の解決

協定に定めのない事項及び疑義が生じた場合は、中心市と構成町村が協議して定めることとします。

第5章 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

八ヶ岳定住自立圏の形成に関する協定に基づいて取り組む事業について掲載しています。なお、事業費が「0」のものは、予算措置を伴わない事業及び事業費が未定のものに用いており、事業費が「―」のものは、協定を締結していない項目です。

I 生活機能の強化

1 医 療

ア 医療体制の充実

取組内容	圏域の総合的な医療体制の充実を図るため、圏域住民が安心して暮らせる地域医療の体制づくりに取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙が連携し、圏域内の医療機関が行う健康な暮らしを支える取組の充実と相互の支援体制を構築する。

圏域内の医療体制の充実

① 地域医療機関支援事業

関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内の医療機関が行う救急医療や地域住民を対象にした健康づくり事業に対し支援を行う。						
事業効果	救急医療体制の維持や医療機関への医師の派遣等による医療体制の充実が図られるとともに、各種健康づくり事業の実施による圏域住民の健康増進が図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）		
	救急病床		4床		4床		
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	39,688	39,688	39,688	39,688	39,688	198,440
	原村	0	0	0	0	0	0
	計	39,688	39,688	39,688	39,688	39,688	198,440

イ 健康づくりの推進

取組内容	圏域内の若者から高齢者まで幅広い世代の健康意識の向上を図るため、健康に関する情報発信や健康意識の啓発に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙が連携し、生活習慣の改善や運動習慣の確立に向けた情報発信や健康づくりを実感できる機会を創出する。

地域の健康増進の推進

② 健康福祉啓発事業

関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内の若者から高齢者まで幅広い世代の健康意識の向上を図るため、圏域内の人を対象とした事業を実施し、どのような事業を行っているか確認しあい、参加率を上げるための意見交換を行う。						
事業効果	圏域内の事業を参考として、若者から高齢者までの幅広い世代に健康意識の向上を図る。						
導入可能な補助事業等	健康増進事業補助金						
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）		
	意見交換回数		0回		2回		
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	1	1	1	1	1	5
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	396	396	396	396	396	1,980
	計	397	397	397	397	397	1,985

2 福 祉

ア 子育て支援

取組内容	圏域内の子育て世代の交流促進を図るため、子育て支援施設の相互利用やイベント情報の提供及び発信に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙が連携し、子育て支援施設の相互利用や子育てイベント情報の共有による交流の機会を創出する。

子育て支援施設の相互利用の促進及び子育てイベント情報の共有

③ 子育て支援施設相互利用事業

関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内6箇所の子育て支援施設において乳幼児(概ね0歳から3歳)とその保護者を対象に、子育てアドバイザーによる育児相談や情報提供、子育てに関する講習会やイベント等を行う。 また、八ヶ岳定住自立圏域にある子育て支援施設が一目でわかるようなマップを作成し、配布する。						
事業効果	圏域内の子育て中の保護者の負担感を緩和し、安心して子育てができる環境づくりを進めるとともに、子育て支援施設の利用促進を図る。						
導入可能な補助事業等	子ども・子育て支援交付金						
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		R 5 (基準値)		R 1 1 (目標値)		
	住所地外からの登録率		北杜市 1.3% 富士見町 17.5% 原村 13%		それぞれの市町村で2%増		
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	24,405	24,405	24,405	24,405	24,405	122,025
	富士見町	10,246	10,246	10,246	10,246	10,246	51,230
	原村	5,539	5,539	5,539	5,539	5,539	27,695
	計	40,190	40,190	40,190	40,190	40,190	200,950

3 産 業 振 興

ア 観光振興の推進

取組内容	観光振興による圏域の活性化を図るため、八ヶ岳観光圏事業を拡充し、国内外からの観光客の誘客に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙が連携し、広域観光ルートの設定やインバウンド対策事業等、八ヶ岳観光圏事業の拡充に取り組む。

八ヶ岳観光圏事業を拡充し、国内外からの観光客の誘客への取組

④ 八ヶ岳観光圏支援事業

関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	八ヶ岳観光圏整備計画に記した国の戦略に沿った3つの基本方針「①インバウンド回復、②国内交流拡大、③高付加価値で持続可能な観光地域づくり」に基づき、観光関連事業者及び関係機関が広域に連携する取り組みの支援や施策の実施により国内外からの観光誘客を図る。						
事業効果	八ヶ岳観光圏エリアへの来訪者誘客及び観光消費額の増加が図られる。						
導入可能な補助事業等	訪日外国人旅行者周遊促進事業等						
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		R 5 (基準値)		R 1 1 (目標値)		
	宿泊客数 (うち外国人)		647千人(最新値) (1千人)(最新値)		1,170 千人 (118 千人)		
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	17,766	50,000	50,000	50,000	50,000	217,766
	富士見町	0	20,000	20,000	20,000	20,000	80,000
	原村	2,538	3,000	3,000	3,000	3,000	14,538
	計	20,304	73,000	73,000	73,000	73,000	312,304

八ヶ岳観光圏事業を拡充し、国内外からの観光客の誘客への取組

⑤ 観光施設等相互利用事業

関係市町村		北杜市、富士見町、原村					
事業概要		圏域の魅力向上及び連携強化のため、圏域内に点在する各種観光施設等において連携が可能な取組について検討するとともにその内容を実施することにより、相互利用を促進する。					
事業効果		圏域内の観光施設等の相互利用により、圏域内での利便性の向上及び利用促進が図られる。					
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)		指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）	
		連携施設件数		0件		5件	
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0

南アルプスユネスコエコパーク事業への取組

⑥ 南アルプスユネスコエコパーク事業

関係市町村		北杜市、富士見町					
事業概要		南アルプスユネスコエコパークの保全と活用を推進するため、エリア内の環境保全、環境整備、地域の魅力・資源の発掘等により、情報発信と受入環境整備を図り、人と自然と文化が共生する地域づくりを推進する。					
事業効果		南アルプスユネスコエコパークエリアの環境整備の推進、観光誘客と観光消費額の増加が図られる。					
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)		指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）	
		保全活動件数		14件		19件	
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	22,511	21,650	21,650	21,650	21,650	109,111
	富士見町	0	3,344	3,344	3,344	3,344	13,376
	原村	—	—	—	—	—	—
	計	22,511	24,994	24,994	24,994	24,994	122,487

イ 鳥獣害防止対策

取組内容	有害鳥獣による農林業被害を防止するため、圏域で連携し、鳥獣害防止対策を総合的に進める。
関係市町村 の役割	(ア)甲・乙と連携し、住民及び団体と連携を図りつつ、鳥獣害に関する情報交換等を実施する。 (イ)甲・乙と連携し、鳥獣害防止対策の調査研究を行うとともに、取組を実施する。

農林業被害防止のための鳥獣害防止対策への取組

⑦ 鳥獣害防止対策合同会議

関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	合同会議において情報交換等を行い、効率的かつ有効な鳥獣害対策を検討する。						
事業効果	鳥獣害による農林業被害が減少し、農林業経営の安定化と地域の活性化が図られる。						
導入可能な 補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		R 5 (基準値)		R 1 1 (目標値)		
	会議開催数		1回／年		1回／年		
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0

ウ 地産地消・販路拡大の推進

取組内容	農林産物の消費拡大を図るため、道の駅・直売所等を活用し、地産地消及び販路拡大を推進する。
関係市町村の役割	(ア) 甲・乙と連携し、住民及び団体等と連携を図りつつ、地産地消、情報発信等に関する情報交換等を実施する。 (イ) 甲・乙と連携し、道の駅・直売所等の相互交流により、地産地消及び販路拡大の推進に資する取組を実施する。

地産地消及び販路拡大の推進

⑧ ハヶ岳定住自立圏農林産物販売連携会議

関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域に存する道の駅・直売所の活性化を図るため、連携会議を開催し、特産品情報の共有・発信等を通じて、相互連携を深めると共に新たな特産品のブランド化に取り組む。						
事業効果	特産品情報の共同発信により効果的な販路拡大が見込まれ、新たな特産品のブランド化にも繋がる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		R 5 (基準値)		R 1 1 (目標値)		
	会議開催数		1回／年		1回／年		
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	5	5	5	5	5	25
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	計	5	5	5	5	5	25

地産地消及び販路拡大の推進

⑨ 特産品等地域資源活用交流促進事業

関係市町村		北杜市、富士見町、原村					
事業概要		相互連携したイベント内容として、地域の特産品や農畜産物を活用した出店やステージ内容を企画・展開することで、交流人口の拡大と地域内消費の促進を図る。					
事業効果		地域の特産品や文化資源を広く発信ができるため、人と人との交流拡大が図られる。また、来訪者の回遊により地域産業の振興や消費拡大が図られるとともに、圏域の連携が強化され、広域的な地域活性化の基盤づくりと横展開が期待できる。					
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)		指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）	
		イベント開催数		—		3回／年	
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	2,310	2,310	2,310	2,310	2,310	11,550
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	計	2,310	2,310	2,310	2,310	2,310	11,050

4 教 育 ・ 文 化

ア 図書館の相互利用等

取組内容	圏域住民の生涯学習の機会の充実を図るため、各図書館の相互利用等を促進する。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、各図書館の相互利用等を促進する。

各図書館の相互利用等の促進

⑩ 図書館相互利用促進事業

関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域住民が、3市町村立図書館すべてにおいて利用カードが作成でき、貸出等のサービスが受けられることを広く周知する。スタンプラリー事業を実施し、圏域内での利用を活性化させる。読みたい本が他館にある場合は、相互貸借も行う。						
事業効果	居住地以外の図書館でも利用カードが作れることで、圏域内の図書館の利用を促進することができる。 スタンプラリーを実施することで、利用の促進を後押しし、圏域住民の生涯学習の機会の充実を図る。						
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）		
	スタンプラリー 完走者数		34 人		50 人		
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	0	20	20	20	20	80
	富士見町	0	20	20	20	20	80
	原村	0	20	20	20	20	80
	計	0	60	60	60	60	240

各図書館の相互利用等の促進

⑪ 図書館連携事業

関係市町村		北杜市、富士見町、原村					
事業概要		期間を定め、3市町村立図書館共通テーマによる資料の展示を3回行う。 展示に併せ、イベント情報や観光チラシなども情報共有できるよう利用者に提供していく。					
事業効果		共通のテーマによる展示で、圏域内の活性化を図る。また、イベント情報や観光情報も共有することで、圏域内の魅力を発信し活性化を図る。					
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)		指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）	
		共通テーマ展示期間内の 資料予約・貸出点数		20冊		50冊	
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0

イ 生涯学習の充実

取組内容	圏域内における芸術、文化、スポーツの振興を図るため、施設の相互利用やイベント情報の共有等に努め生涯学習の充実を図る。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域内の芸術、文化、スポーツ施設で開催されるイベント等の情報を発信するとともに、圏域内の住民、子供達がイベント等に参加できるような機会をつくる。

施設の相互利用、イベント情報の共有

⑫ 演劇鑑賞・体験交流促進事業

関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	ホール等における文化芸術事業を推進するため、圏域住民から要望の多い演劇の鑑賞や体験の機会を実現させ、演劇を圏域内に定着させる。 また、圏域住民の文化芸術活動の充実のため演劇のワークショップを実施し、演劇への参加により、役者と圏域住民が一緒になって時間と空間を共有体験できる劇団の創出事業としての文化芸術事業を図る。						
事業効果	質の高い演劇等を開催することで、圏域全体の交流人口の増加が期待できる。圏域住民に演劇の鑑賞や体験の機会が充実し、圏域全体の文化芸術の振興が図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）		
	ワークショップ 満足度		80%		95%		
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	2,119	2,500	2,500	2,500	2,500	12,119
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	計	2,119	2,500	2,500	2,500	2,500	12,119

施設の相互利用、イベント情報の共有

⑬ 文化芸術鑑賞・体験機会提供事業

関係市町村		北杜市、富士見町、原村					
事業概要		市内ホールで、圏域住民に一流の文化芸術の鑑賞会や、音楽会等の芸術事業を提供し、質の高い文化芸術に触れる機会の充実や相互交流を目的とし圏域の活性化を図る。 また圏域小・中学生を対象とした多彩な優れた芸術鑑賞または楽器演奏体験等参加型事業、観て聴いて触れて感じる文化芸術事業等の機会を提供し、子どもたちの情操教育の推進を図る。					
事業効果		圏域住民や子育て世代に、文化芸術事業や参加型事業を開催することで、圏域の芸術活動が活性化され、住んでみたいまち（圏域）のイメージアップが期待できる。 また、圏域住民の一流の文化芸術を鑑賞する機会の充実や、圏域の子どもの情操教育が図られる。					
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)		指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）	
		ホール入場者数 学校芸術体験者数		入場者 670 人 小中学生 760人		入場者 900 人 小中学生 800 人	
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	8,489	10,000	10,000	10,000	10,000	48,489
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	40	0	0	0	0	40
	計	8,529	10,000	10,000	10,000	10,000	48,529

施設の相互利用、イベント情報の共有

⑭ 峡北スケート大会、スケート教室開催事業及びスケート振興推進事業

関係市町村		北杜市、富士見町、原村					
事業概要		北杜市ハヶ岳スケートセンターにおいて、圏域の子ども達が参加できる、競技力向上および自己目標の達成を目的としたスケート大会を開催する。 また、トップアスリートによるスケート教室や親子スケート教室を開催し、圏域住民がスケートに親しみ、スケートの普及を図るとともに、この地域ならではの特色あるスポーツを体験する機会を提供する。					
事業効果		圏域におけるスケート競技力の向上と指導者の資質向上ならびに冬季のスポーツ実施率向上が図られ、スケート振興および交流人口の拡大が期待できる。 また、スケートを通じて圏域の魅力を発信し、観光客等の呼び込みに繋げ、スケートがこの地の特色あるレジャーとして定着することにより、圏域内の宿泊・観光事業への波及効果も期待できる。					
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)		指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）	
		大会・教室 参加者数		500人		500人	
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	567	1,500	1,500	1,500	1,500	6,567
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	計	567	1,500	1,500	1,500	1,500	6,567

施設の相互利用、イベント情報の共有

⑮ アーバンスポーツ振興推進事業

関係市町村		北杜市、富士見町、原村					
事業概要		八ヶ岳スケートセンター、白州サンドバレーコート、および YBP など を会場に、近年注目を集め、競技人口の増加がみられるアー バンスポーツのスケートボード、ビーチバレーボール、BMX とい った各種スポーツ教室・大会を開催し、多様なスポーツに触れる 機会の提供とともに、スポーツの楽しさを伝え、競技の普及に努 める。					
事業効果		特色あるスポーツ施設を活用し、新たなスポーツに親しむ機会を 提供することで、多様化する住民ニーズに応え、圏域の交流人 口の拡大が期待できる。 また、競技人口の増加により、施設の活性化が図られ、都市圏か らの人の流れの創出にもつながる。					
導入可能な 補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)		指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）	
		教室・大会 参加者数		200 人		300 人	
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	586	800	800	800	800	3,786
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	計	586	800	800	800	800	3,786

施設の相互利用、イベント情報の共有

⑯ 商店街にぎわい創出事業

関係市町村		北杜市、富士見町、原村					
事業概要		住民が主体的に文化芸術活動や地域間交流を行う場として展示会やカルチャー教室を開催し、地域文化の振興と市街地のにぎわい創出を図る。					
事業効果		住民の文化芸術活動がより活発となり、世代や分野を超えた多様な交流が促進されることで、周辺地域の文化振興と市街地のにぎわい創出につながり、地域コミュニティのさらなる活性化が図られる。					
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)		指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）	
		来場者の満足度		—		95%	
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	12,000
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	計	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	12,000

ウ 文化財の保護、活用

取組内容	郷土の文化・伝統を守るため、連携して文化財の保護、活用を図る。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、文化財の保護、活用を図る。

文化財の保護、活用の推進

⑰ 資料館連携事業

関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	縄文文化を中心に、圏域にある文化財・郷土資料から選んだ共通のテーマの企画展を同時開催する。 また、バスツアースタンプラリー等を開催する。						
事業効果	圏域内の資料館において共同で共通テーマの企画展を開催することで、全国に誇れる八ヶ岳山麓の歴史や文化をより効果的に発信でき、移住定住への関心を喚起できる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）		
	企画展開催中の圏域外からの入館者数		10,558 人		11,656 人		
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	1,380	1,153	1,153	1,153	1,153	5,992
	富士見町	1,380	105	105	105	105	1,800
	原村	0	105	105	105	105	420
	計	2,760	1,363	1,363	1,363	1,363	8,212

文化財の保護、活用の推進

⑱ 文化財を活用した地域活性化事業

関係市町村		北杜市、富士見町、原村					
事業概要		縄文文化や棒道など、圏域に所在する未指定を含めた文化財を保護・継承し、それらを活用した地域活性化を図る。 棒道ウォーキングや、裂き織り(ボロ織り)等の伝統技術の体験教室、文化財を巡るツアーなどを開催する。					
事業効果		八ヶ岳山麓の文化財、伝統文化に直に触れる機会を提供することで、八ヶ岳山麓の文化財、伝統文化の魅力を発信することができるとともに、地域住民の地域への誇り、圏域への移住・定住の関心を喚起できる。 また、ウォーキングやツアーにおいて地域施設を活用することにより、地域振興の活性化が図られる。					
導入可能な補助事業等		全国各地の魅力的な文化財活用推進事業 文化財多言語解説整備事業					
重要業績 評価指標 (KPI)		指標		R 5 (基準値)		R 1 1 (目標値)	
		文化財関連イベント の参加者数		40人		100人	
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	317	100	100	100	100	717
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	計	317	100	100	100	100	717

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化

1 地域公共交通

ア 地域公共交通のネットワーク化

取組内容	圏域内住民等の移動手段を確保するため、バス路線等の維持・確保対策に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域における公共交通の課題について調査、検証するとともに、バス路線等の維持・確保対策に取り組む。

バス路線等の維持・確保対策への取組

⑲ 圏域公共交通対策事業

関係市町村	北杜市、富士見町						
事業概要	県境で接する北杜市と富士見町は、生活圏として交流があるため、相互連携により圏域内の住民の移動手段を確保する。						
事業効果	圏域内の商業施設や医療機関、鉄道駅を相互に利用でき、圏域住民の利便性が向上する。						
導入可能な補助事業等	地域公共交通確保維持改善事業補助金						
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）		
	北杜市民バス・富士見町すずらん号利用者数		107,292人		120,000人		
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	352	172	177	183	187	1,071
	富士見町	20,500	19,500	19,500	19,500	19,500	98,500
	原村	—	—	—	—	—	—
	計	20,852	19,672	19,677	19,683	19,687	99,571

バス路線等の維持・確保対策への取組

⑳ 高速交通網活用事業

関係市町村		北杜市、富士見町					
事業概要		近い将来に見込まれる「リニア中央新幹線」の開業や「中部横断自動車道」の開通等を見据え、高速交通網が本圏域に与える影響の把握・検討を進める。					
事業効果		高速交通網の活用による、より効果的な移動方法を検討することにより、圏域住民の本圏域と他圏域との交流が促進される。					
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)		指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）	
		高速交通網活用 研修会開催数		1回／年		1回／年	
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	0	150	150	150	150	600
	富士見町	3,960	0	0	0	0	3,960
	原村	—	—	—	—	—	—
	計	3,960	150	150	150	150	4,560

2 圏域内外の住民との交流及び移住の促進

ア 結婚支援

取組内容	若者に出会いの機会を提供するため、圏域全体で結婚支援に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、結婚相談や出会いのパーティ等のイベントを開催するとともに、結婚支援の取組の調整を行う。

若者への出会いの機会の提供、結婚支援の取組

㊴ 出会いの機会創出事業

関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内のそれぞれの特徴、魅力を生かした婚活イベントを開催し、出会いの場を提供することで若い世代の定住につなげる。						
事業効果	圏域内の若者に積極的に出会いの場を提供することで、若い世代の成婚、定住に繋げることができる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		R 5 (基準値)		R 1 1 (目標値)		
	婚活イベントにおけるカップル成立数		17組		18組		
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	1,155	1,818	1,818	1,818	1,818	8,427
	富士見町	100	100	100	100	100	500
	原村	50	562	562	562	562	2,298
	計	1,305	2,480	2,480	2,480	2,480	11,225

若者への出会いの機会の提供、結婚支援の取組

㊼ きめ細やかな結婚支援事業

関係市町村		北杜市、富士見町、原村					
事業概要		圏域内の結婚相談員の相互交流によるスキルアップとともに、出会いサポートセンターにおいて、圏域内の結婚希望者の情報共有を行う。 また、ポータルサイトの効果的な運用を通じ、情報発信力を高める。					
事業効果		圏域内で情報共有することで、交流範囲や出会いの場が広がり、若い世代の成婚・定住に繋がる。					
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)		指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）	
		結婚相談所を通じた成婚数		3組		3組	
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	1,570	2,181	2,181	2,181	2,181	10,294
	富士見町	281	506	506	506	506	2,305
	原村	1,024	103	103	103	103	1,436
	計	2,875	2,790	2,790	2,790	2,790	14,035

イ 移住促進及び交流推進

取組内容	移住促進及び交流推進を図るため、三大都市圏を対象とした就労、住宅、空き家に関する情報の提供及び発信に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、事業実施のために必要となる情報の収集を行い、移住希望者に対応できる移住相談案内窓口等を設置する。

就労、住宅、空き家に関する情報の提供及び発信への取組

㊸ 移住定住相談対策推進事業

関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域内へのさらなる移住定住を推進するため、圏域内の移住定住相談に対応する相談窓口を設置し、圏域の情報の提供及び発信を行う。 また、圏域内の移住定住事業の調整や合同相談会の企画運営を行う。						
事業効果	圏域内の移住定住情報の集約化により、相談者の利便性が向上するとともに、圏域全体の移住定住人口及び関係人口の増加が図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）		
	移住定住相談件数		697件／年		860件／年		
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	396	1,094	1,094	1,094	1,094	4,772
	富士見町	6,883	218	218	218	218	7,755
	原村	1,739	109	109	109	109	2,175
	計	9,018	1,421	1,421	1,421	1,421	14,702

就労、住宅、空き家に関する情報の提供及び発信への取組

㊤ ハヶ岳圏域魅力発信推進事業

関係市町村		北杜市、富士見町、原村					
事業概要		圏域内のさらなる移住定住を推進するため、圏域内の自然資源や観光及び歴史文化等、主に SNS を活用した魅力の発信を行う。 また、ふるさと納税制度を活かした圏域内の体験返礼品を創出し、コト消費を促進する関係人口並びに交流人口の増加の企画、運営を行う。					
事業効果		圏域内の市町村の認知度向上、魅力や暮らし方を連携して提供することにより、圏域外から訪れる人々に地域力を伝え、将来にわたって住み続けたいと感じられる圏域づくりが図られる。					
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)		指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）	
		SNS インスタグラム フォロワー数		0 人		1,000 人	
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	0	231	231	231	231	924
	富士見町	0	66	66	66	66	264
	原村	0	33	33	33	33	132
	計	0	330	330	330	330	1,320

就労、住宅、空き家に関する情報の提供及び発信への取組

㊦ 地域活動団体連携事業

関係市町村		北杜市、富士見町、原村					
事業概要		圏域内で活動するNPO法人等地域活動団体の相互交流を図ることにより、圏域内外の住民との交流を促進する。					
事業効果		NPO法人等地域活動団体が相互に連携することにより、圏域内外の住民との交流が促進され、関係人口の増加や移住促進につながる。					
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)		指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）	
		交流会開催回数		1回／年		1回／年	
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0

ウ 女性の活躍

取組内容	女性に対する就職を支援するため、圏域内で働く魅力やライフスタイルに合った働き方を発信し、女性の雇用創出を図る。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域内の女性の雇用促進に向けた機会を創出し、情報交換等を実施する。

女性の活躍と雇用の促進

㊼ 就労支援事業

関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	働く意欲のある女性や若者等に対し、単なるスキルアップや資格取得のための支援ではなく、キャリアコンサルティングを含めた総合的な就労支援を行う。						
事業効果	希望の職種、ライフワークと思われるような仕事につけるよう後押しをすることで、女性等が輝く社会づくりに繋がる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		R 5 (基準値)		R 1 1 (目標値)		
	就労支援イベント 参加人数		2人		15人		
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	1,457	0	0	0	0	1,457
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	計	1,457	0	0	0	0	1,457

3 道路等のインフラの整備

ア 道路の整備

取組内容	圏域内の交流人口を増加させるため、圏域を横断する観光ルート等となりうる道路整備に取り組む。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域内の観光振興や災害時の緊急道路として、圏域を横断する主要道路が十分機能するよう整備に取り組む。

観光ルート等の道路整備への取組

㊦ 広域幹線道路整備促進協議会

関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	圏域の交通インフラの整備に向け、主要となる幹線道路や圏域内周遊市町村道路の整備促進を図るため、各市町村担当者等で構成する連絡協議会を開催し、整備に向けた検討や県に対する要望等を行う。						
事業効果	圏域を直結で結ぶ幹線道路である主要地方道茅野北杜葦崎線、県道富士見原茅野線や圏域内を周遊する市町村道の整備促進を図ることにより、圏域内の繋がりが、より一層強化され、特に観光案内拠点となる道の駅こぶちさわの機能や周遊ルートの充実が図られる。 また、災害時における緊急道路としての効果も発揮される。						
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		R 5 (基準値)		R 1 1 (目標値)		
	協議会開催数		1回／年		1回／年		
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	0	0	0	0	0	0
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0

観光ルート等の道路整備への取組

㊥ 主要道路整備事業

関係市町村		北杜市、富士見町、原村					
事業概要		圏域内の交流促進や観光ルートとしての機能を有する路線として、中央自動車道の諏訪南IC、小淵沢IC及び小淵沢駅を拠点に連結・周遊する市町村道について、維持補修工事及び環境整備事業を実施するとともに、主要地方道茅野北杜葦崎線、県道富士見原茅野線についても事業を推進する。					
事業効果		主要観光ルート・連結周遊ルートの整備を進めることにより、通行の安心・安全の確保や利便性の向上が図られ、スムーズな人の流れや物流により、魅力ある環境づくりが図られる。					
導入可能な補助事業等		社会資本整備総合交付金事業 地方創生道整備推進交付金事業 緊急自然災害防止対策事業 公共施設等適正管理推進事業					
重要業績 評価指標 (KPI)		指標		R 5 (基準値)		R 1 1 (目標値)	
		宿泊客数 (うち外国人)		647千人(最新値) (1千人)(最新値)		1,170 千人 (118 千人)	
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	54,384	15,000	15,000	15,000	15,000	114,384
	富士見町	227,980	10,000	10,000	10,000	10,000	267,980
	原村	16,358	10,000	10,000	10,000	10,000	56,358
	計	298,722	35,000	35,000	35,000	35,000	438,722

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化

1 圏域内市町村職員の交流

ア 市町村間職員研修

取組内容	圏域内市町村職員の資質の向上及び圏域マネジメント能力の向上を図るため、合同研修を行う。
関係市町村の役割	甲・乙と連携し、圏域内市町村職員が合同で参加することで効果が期待できる研修を企画し、実施する。

圏域内職員の資質向上及び圏域マネジメント能力向上に向けた研修開催

㊟ 圏域市町村職員合同研修開催事業

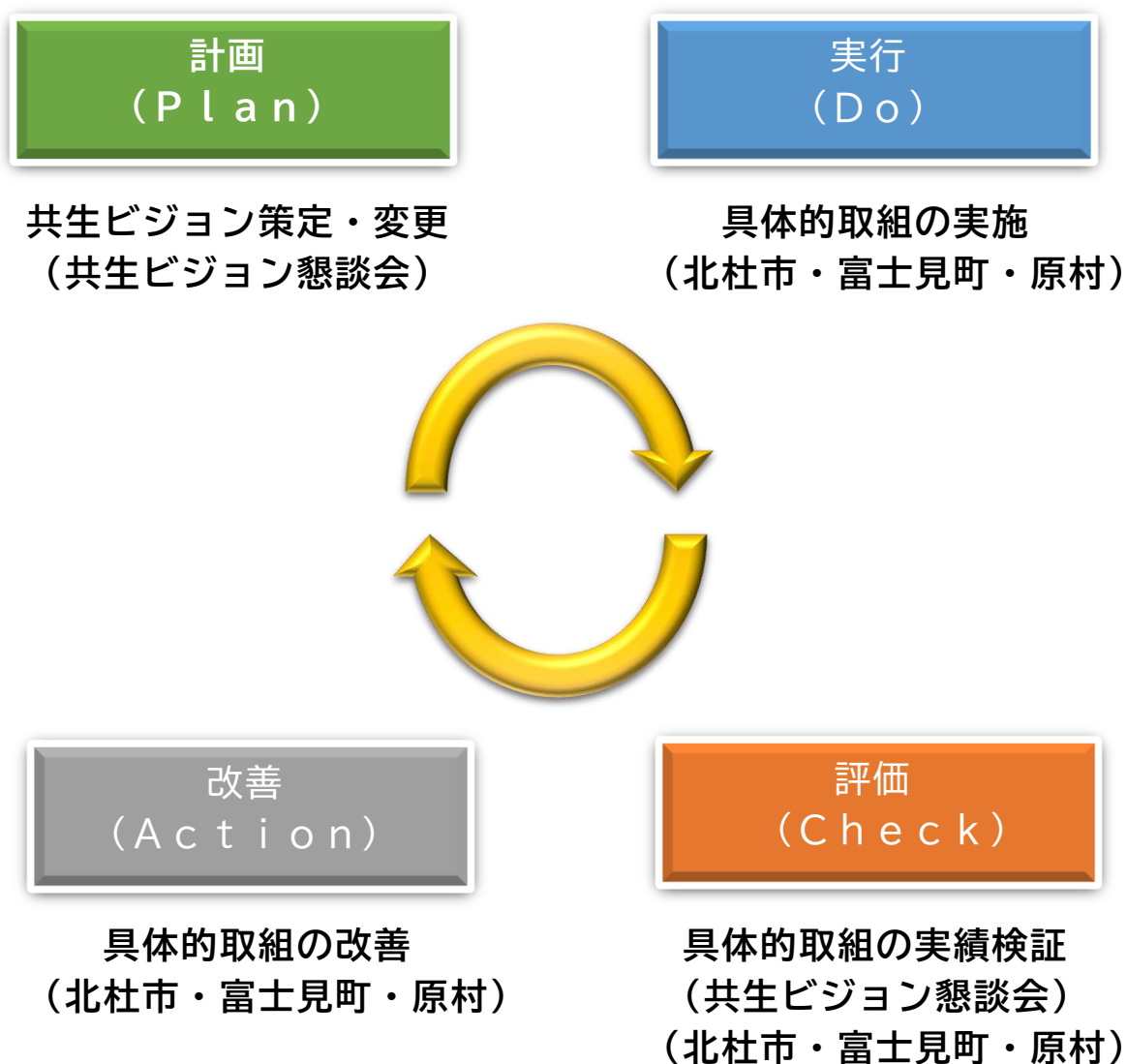
関係市町村	北杜市、富士見町、原村						
事業概要	職員の資質向上、政策形成能力の強化、職員相互の交流等を目的として、定住自立圏で取り組む課題や圏域内の市町村で共通する課題等をテーマとした、職員合同研修を開催する。						
事業効果	合同研修の開催により、職員の課題解決・政策形成能力の向上が図られるとともに、合同研修を通じて圏域職員の一体感が醸成され、圏域内の多岐にわたる課題を解決する市町村職員相互のネットワーク基盤の構築が図られる。						
導入可能な補助事業等							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		R 5（基準値）		R 1 1（目標値）		
	研修会開催数		5回		5回		
事業費 (千円)	年度	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	北杜市	200	200	200	200	200	1,000
	富士見町	0	0	0	0	0	0
	原村	10	0	0	0	0	10
	計	210	200	200	200	200	1,010

第6章 ハケ岳定住自立圏共生ビジョンの推進体制

第3次ハケ岳定住自立圏共生ビジョンは、今後の5年間のハケ岳定住自立圏が目指す将来像や具体的な取組等を示すもので、こうした取組を確実に進めていくためには、「計画（Plan）」、「実行（Do）」、「評価（Check）」、「改善（Action）」のマネジメントサイクル（下記の図参照）により、実績や効果を検証し、次年度以降の取組に反映させていきます。

そして、その結果を、毎年度「ハケ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会」に報告し、必要に応じて見直しを行います。

ハケ岳定住自立圏共生ビジョンの推進体制



(資料編)

ハケ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱

(設置)

第1条 定住自立圏構想推進要綱(平成20年12月26日付け総行応第39号総務事務次官通知)第6の規定に基づき、ハケ岳定住自立圏共生ビジョン(以下「共生ビジョン」という。)を策定及び変更することに伴い、広く関係者の意見を反映させるため、ハケ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会(以下「懇談会」という。)を設置する。

(任務)

第2条 懇談会は、共生ビジョンの策定又は変更に関する事項について検討する。

(組織)

第3条 懇談会の委員(以下「委員」という。)は、20人以内をもって組織する。

2 委員は、ハケ岳定住自立圏の形成に関する協定書第3条に規定する取組内容に関連する分野を代表する者、その他市長が適当と認める者のうちから、市長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員の再任は妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 懇談会に会長1人及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員が互選によりこれを定める。

3 会長は、懇談会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇談会の会議(以下「会議」という。)は、会長が必要に応じて招集する。

2 会長は、会議の議長となる。

3 会議は、委員の過半数の出席をもって成立する。

4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(関係者の出席)

第7条 会長は、専門的な事項について必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 懇談会の庶務は、企画部企画課において処理する。

(その他)

第9条 この告示に定めるもののほか、懇談会の運営に必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。

附 則

この告示は、令和2年4月1日から施行する。

ハケ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿

令和7年10月現在

(順不同・敬称略)

番号	区 分	氏 名	所属団体
1	観光振興	小 林 勉	ハケ岳観光圏(ハケ岳ツーリズムマネジメント)
2	//	和 田 正 生	富士見町観光協会
3	//	石 川 高 明	一般社団法人 原村観光局
4	子育て支援	平 出 ユ ウ 香	特定非営利活動法人 ほくと育ちあいのもり Northtree
5	//	名 取 あ ゆ み	特定非営利活動法人 たくさんの手
6	//	小 倉 佳 美	原村女性団体連絡協議会
7	教育文化	小 林 秀 彦	北杜市教育委員会委員
8	//	小 林 俊 一	富士見町教育委員会委員
9	//	小 池 利 治	原村文化財調査委員会
10	公共交通	所 一 郎	北杜市公共交通会議
11	//	細 川 豊 春	富士見町デマンド交通運行委員会
12	結婚相談	竹 田 和 美	北杜市結婚相談員連絡協議会
13	//	五 味 琴 美	富士見町結婚相談所
14	//	熊 田 洋 子	原村結婚相談所
15	移住定住	秋 山 純 一	北杜市空き家バンク協力会
16	//	雨 宮 芳 樹	県宅建協会富士見分会
17	学 識	藤 原 真 史	北杜市総合計画審議会
18	//	雨 宮 伊 織	富士見町まち・ひと・しごと創生有識者会議
19	//	牛 山 徳 康	原村地域創生検討委員会

～第3次ハケ岳定住自立圏共生ビジョン審議経過～

令和5年

- 7月5日 3市町村担当課長・担当国会議(富士見町)
 - 7月27日 ハケ岳定住自立圏市町村長会議(富士見町)
 - 11月10日 北杜市総合計画策定本部員会議
 - 11月17日 令和5年度第1回ハケ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会(北杜市)
-

令和6年

- 2月8日 3市町村担当国会議(富士見町)
 - 4月11日 3市町村担当課長・担当国会議(富士見町)
 - 6月21日 北杜市総合計画策定本部員会議
 - 7月8日 ハケ岳定住自立圏市町村長会議(北杜市)
 - 7月8日 令和6年度第1回ハケ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会(北杜市)
 - 9月19日 3市町村担当国会議(富士見町)
 - 11月1日 北杜市総合計画策定本部員会議
-

令和7年

- 1月8日 北杜市総合計画策定本部員会議
- 1月15日 令和6年度第2回ハケ岳定住自立圏共生ビジョン懇談会(北杜市)
- 3月 第3次ハケ岳定住自立圏共生ビジョンの公表

第 3 次

八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン

発行 北杜市 企画部 企画課